

いしづえ

2019 12月号
<合併号> 2020 1月号

第627号 2019・12・22 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南2-33-32 TEL 03-3314-5688 FAX 03-3314-8954



クリスマス 新年

おめでとうございます



クリスマスに想う

子供のころ、クリスマスになると、サンタさんがプレゼントを持ってきてくれると、素直に信じていました。しかし、こんな夢のような世界は、今ではどこか遠くに行つてしまつたかのようです。大人になつた今でも、わたしたちの多くは、クリスマスのこの時期、子供たちや身近の人のためにプレゼントの用意をしています。クリスマスの風物詩は変わることありません。子供たちの夢をこわしたくないという思いがあり、お互いへの感謝の気持ちを、この季節になると、新たにしたいからでしょう。クリスマスは夢のような季節です。そして、わたしたちはこのような夢の世界を必要としているのです。

キリスト教の信仰においては、クリスマスは、言うまでもなく、神の御子が一人の嬰児となつて、このわたしたちの世界に生まれ出たことを祝う祭りです。クリスマスの物語は、夢のような世界です。そして、厳しい現実の中

に生きるわたしたちはクリスマスがもたらすこのような夢の世界を必要としているのです。それは、ひと時の現実逃避に過ぎないのでありません。八方ふさがりの現実を生きるわたしたちは、クリスマスの夢の世界に覆われる必要があるのであります。この現実の世界がクリスマスの夢の世界からのメッセージに覆われる必要があるからです。この現実の世界の中で、明日への希望を取り戻す必要があるからです。

クリスマスの祭りはこののような希望をもたらしてくれます。クリスマスは神の御子の誕生を祝うだけではありません。クリスマスの夜お生まれになった神の御子は、わたしたちのこの現実の中とともに生きていてくださることをその身をもつて証ししていくのです。どのような現実の中にあるとも、神がそこにともにいてくださるなら、わたしたちは希望を失うことなく、生きてゆくことができるからです。

主任司祭 吉池好高